

学級だより

にこにこ

福山市立有磨小学校 2年生

NO.16

2024年(令和6年)11月1日

九九の学習が始まりました

二年生の子どもたちにとって、最大の難関「九九」の学習が始まりました。最初に学習したのは、「2の段」です。子どもたちは、「2とび」で数が増えていくことに気づき、かける数が1増えるごとに、答えは「2増える」ことを見つけました。理論は分かっている、すぐ答えが出てこないことに、練習の必要性を感じます。考えなくても、ずっと答えが出るようになるまで、繰り返し練習する必要があります。子どもたちには、2の段のバージョンアップとして、「 2×9 18、 2×8 16」とかける数を9から1に下げていく練習も出しています。先日、2の段を全員がクリアしました。そこで、第二の試練、子どもたちに10秒以内で2の段を言わせています。これは、毎日続けて復唱しないとできません。そして、現在は、5の段を学習しています。毎日の宿題に、「2の段」と「5の段」をいう宿題を出しています。家庭でも、子どもたちのでき具合を確かめてください。そして、できた時には、しっかりほめてあげてください。

創立150周年を祝って

来賓や地域の方、保護者のみなさんとともに、創立150周年を祝う式がありました。小林教育長や民生委員さんをはじめ、多くの方の参加がありました。実行委員さんは、昨年度から幾度となく話し合いを持たれ、記念品の準備をしてくださいました。子どもたちは、記念のファイルやタオル、缶バッジをもらい、とても喜んでいました。150周年を迎えた年に在籍していたことの喜びを、大人になったとき実感するのではないかと思います。みなさんが、気持ちを込めて作られた記念品を大切にしてもらいたいと思います。

式後には、「我龍」の公演がありました。直径2m近くもある太鼓に、全身を使いバチを振られた姿に、子どもたちは釘づけになりました。後半では、子どもたちに太鼓のたたき方を教えてくださいました。2年生も、4人の子どもたちが太鼓に挑戦しました。

